

問1 イスラム教徒が多数を占める地域では、食品のパッケージに「ハラールマーク」が付与されていることがあります。この「ハラール」の概念に基づいた、イスラム教における食生活の説明として正しいものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 豚肉を食べることやアルコールを摂取することは禁じられており、それらを含まない食品が認められる。 | 2. 牛肉を食べることが神聖な動物を傷つける行為として禁じられており、主に鶏肉や羊肉が推奨される。 | 3. すべての動物の殺生が禁じられているため、肉や魚を一切使わない野菜中心の食事が義務付けられている。 | 4. 特定の季節以外は肉類を食べてはいけないという決まりがあり、加工食品には厳しい制限がある。 |
|--|---|---|---|

問2 東南アジアに位置するインドネシアは、多くの島々からなる多民族国家ですが、この国について述べた次の文のうち、信仰されている宗教とその特徴について説明したものととして正しいものはどれですか。 (2026年 京都府公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 西アジアのアラビア半島で誕生し、メッカを聖地とするイスラム教が、かつての海上交易などを通じて広まり、現在では国民の大多数を占めている。 | 2. インドで誕生し、東南アジア一帯に広まった仏教が、急激な都市化が進む現在においても、社会制度や生活習慣の根幹をなしている。 | 3. かつてヨーロッパ諸国の植民地であった影響を強く受け、近隣のフィリピンと同様に、キリスト教を信仰する人々が人口の大部分を占めている。 | 4. 特定の宗教が多数派になることはなく、独自の伝統的な信仰に基づき、仏教、キリスト教、ヒンドゥー教がほぼ均等な割合で共存している。 |
|--|---|--|--|

問3 赤道付近の都市における雨温図では、年間を通じて月平均気温が25度以上と高く、かつ各月の降水量が常に多いという特徴が見られます。このような熱帯雨林気候において、降水量が一年中多い理由として正しい説明はどれですか。 (2020年 高知公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 季節風(モンスーン)が一年中同じ方向に吹き続けるため、海からの湿った空気が常に供給されるから | 2. 強い日射によって上昇気流が発生しやすく、午後を中心にスクールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降るから | 3. 冷たい親潮と暖かい黒潮がぶつかる潮目にあたるため、上昇気流が発生して雲がでやすいから | 4. 高緯度地域から吹き下ろす冷たい季節風が、赤道付近の暖かい海上で水分を吸収して雪を降らせるから |
|---|--|---|---|

問4 ヨーロッパの高い緯度に位置するある都市の気候統計では、一年を通じて気温の変化が比較的穏やかであり、かつ降水量が特定の時期に偏らず、毎月平均して雨が降るといった特徴が見られます。この気候区分名と、その特徴をもたらしている主な要因の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2016年 神奈川県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 西岸海洋性気候に分類され、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受けている。 | 2. 地中海性気候に分類され、夏は亜熱帯高圧帯の影響で乾燥し、冬に降水が集中する。 | 3. 熱帯雨林気候に分類され、赤道付近で強い日差しを受け上昇気流が盛んに発生するため。 | 4. ツンドラ気候に分類され、一年の大部分が氷雪に覆われ、夏の間だけわずかに苔類が育つため。 |
|---|---|---|--|

問5 熱帯や亜熱帯地域で見られ、コーヒーやサトウキビ、天然ゴムといった輸出を目的とした商品作物を、多くの労働者を雇って大規模に栽培する農園の名称を答えなさい。 (2024年 島根公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------|---------|-----------|------------|
| 1. プランテーション | 2. 焼畑農業 | 3. オアシス農業 | 4. 企業的穀物農業 |
|-------------|---------|-----------|------------|

問6 世界の諸地域では、宗教が人々の食文化や産業に大きな影響を与えています。アルジェリアなどの国々において、教義上の理由から「豚を飼育すること」や「豚肉を食べること」が禁忌とされている宗教の名称を答えなさい。 (2017年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|-----------|----------|-------|
| 1. イスラム教 | 2. ヒンドゥー教 | 3. キリスト教 | 4. 仏教 |
|----------|-----------|----------|-------|

問7 ある農産物の州別生産割合を示す統計において、アフリカ大陸が約57.8%、ユーラシア大陸が約17.6%を占めている農産物があります。この農産物は地中海沿岸のアフリカ北部やヨーロッパなどの地域で盛んに栽培されていますが、その名称として最も適切なものを選択してください。 (2019年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|------|
| 1. オリーブ | 2. コーヒー豆 | 3. とうもろこし | 4. 米 |
|---------|----------|-----------|------|

答え合わせ・解説

- 問1** **答え 1**
豚肉を食べることやアルコールを摂取することは禁じられており、それらを含まない食品が認められる。
- イスラム教では、教義によって「許されたもの（ハラール）」と「禁じられたもの（ハラーム）」が明確に定められています。代表的な禁忌として、豚肉を食べることやアルコールを飲むことが挙げられます。また、牛肉や鶏肉であっても、教義に則った作法で処理されていないものは口にすることができません。このような背景から、基準を満たした食品にハラールマークを付ける制度が普及しています。
- 問2** **答え 1**
西アジアのアラビア半島で誕生し、メッカを聖地とするイスラム教が、かつての海上交易などを通じて広まり、現在では国民の大多数を占めている。
- インドネシアは世界最大のイスラム教徒人口を抱える国として知られています。イスラム教は7世紀にムハンマドによって現在のサウジアラビアにあるメッカで開かれましたが、13世紀頃からムスリム（イスラム教徒）の商人による海上交易を通じて東南アジアへも伝わりました。フィリピンはスペインの影響でキリスト教徒が多い一方で、インドネシアはオランダの植民地時代を経てイスラム教が深く根付いたという歴史的背景があります。
- 問3** **答え 2**
強い日射によって上昇気流が発生しやすく、午後を中心にスコールと呼ばれる激しい雨が頻繁に降るから
- 赤道付近の熱帯雨林気候では、強い太陽光が地表を温めることで空気が膨張して上昇し、低気圧が発達しやすくなります。これにより発生した上昇気流が雲を作り、毎日のように短時間の激しい雨（スコール）をもたらすため、雨図では乾季が見られず、一年中高い降水量を示すこととなります。
- 問4** **答え 1**
西岸海洋性気候に分類され、暖流の北大西洋海流と偏西風の影響を受けている。
- ヨーロッパの大西洋沿岸など、高緯度の西側に分布する西岸海洋性気候は、暖流である北大西洋海流の上を吹き渡る湿った偏西風の影響を一年中受けます。このため、緯度のわりに冬の寒さが厳しくならず、降水量も季節を問わず一定になるという特徴があります。一方で、赤道付近の熱帯は年中高温多湿であり、地中海性気候は夏に乾燥するため、降水のパターンが異なります。
- 問5** **答え 1**
プランテーション
- 熱帯・亜熱帯の低緯度地域で展開される大規模な農業形態です。かつて植民地であった地域を中心に、先進国の資本や技術と、現地や他地域からの安価な労働力を組み合わせて、特定の輸出用作物を生産します。これにより、特定の作物の輸出に経済を依存するモノカルチャー経済が形成される要因となりました。
- 問6** **答え 1**
イスラム教
- 北アフリカや西アジアの国々で広く信仰されているイスラム教では、聖典コーランに基づき、特定の食べ物を口にすることが禁じられています。豚はその代表例であり、不浄な動物として食用が禁じられているため、これらの宗教が浸透している地域では豚肉を扱う料理店や豚の飼育農家がほとんど見られないという文化的な特色があります。ヒンドゥー教では牛が神聖視され食肉が制限されることがありますが、アルジェリアの文脈ではイスラム教の影響を考えるのが適切です。
- 問7** **答え 1**
オリーブ
- 地中海沿岸のアフリカ北部からユーラシア大陸（ヨーロッパ）にかけては、温帯のうち「地中海性気候」に属する地域が広がっています。オリーブは乾燥する夏に耐えられる樹木作物であり、この気候条件を活かしてアフリカやユーラシアで世界的な生産シェアを占めています。